

第31回策定委員会開催概要及び議事録概要版

件名	第31回 奈良市ごみ焼却施設移転建設計画策定委員会	
日時	平成22年3月5日(金) 18:00~19:40	
場所	市庁舎北棟6階第22会議室	
出席者	委員	片山信行、木内喜久子、阪本昌彦、笹部和男、佐藤真理、高杉美根子、田中啓義、田中幹夫、古海忍、三浦教次、元島満義、森住明弘、山口清和、山口裕司、吉岡正志、渡邊信久 (今井範子、國領弘治、坊忠一、安田美紗子、吉田隆一委員は欠席)
	事務局	岩井部長、西村次長、息田次長、仲参事、吉住課長、松本補佐、森嶋補佐、平木主任、川内
	コンサル	館田剛志、大木雄介、榎計志
開催形態	公開	
記録作成者	奈良市施設課	
配布資料	資料64	第30回策定委員会開催概要及び議事録概要版(案)
	資料65	主要幹線道路の整備について検討
会 議 内 容		
<p>開 会</p> <p>市長挨拶</p> <p>1. 議 事</p> <p>(1) 第30回策定委員会議事録概要版の確認</p> <p>(2) ごみ焼却施設の候補地選定について</p> <p>(3) その他</p> <p>閉 会</p>		

	議 事 要 約 内 容
事務局（森嶋）	● 今回は奈良市ごみ焼却施設移転建設計画策定委員会の第31回目の会合でございます。委員会開会に先立ち、2月13日付で委員の任期が満了致しましたので、2月14日付で再任されました委員の皆様方に、奈良市長から委嘱状をお渡しさせていただきます。
仲川市長	「委嘱状交付」
事務局（森嶋）	● 4年間委員長をお勤め頂きました郡寫委員長は、今回退任されましたのでご報告します。また國領委員、安田委員は、ご欠席される連絡を頂いてます。
仲川市長	「仲川市長挨拶」（要旨） <p>（委員の皆様方には、本市に於ける最重要課題である焼却施設の移転問題に、精力的にご議論を頂き、再び委員の職をお引き受け頂いたことに感謝を申し上げます。市民の暮らしをより快適に、安定をした持続可能な社会を築いていくためには、ごみの問題と向き合っていかなければなりません。将来のごみ量の推移やごみの質の多様化に対応した新しい焼却施設の整備を図り、環境にやさしい循環型社会の構築を目指しております。昨年11月には4カ所に候補地を選定された報告を、委員会から頂戴しました。その一方で本年1月には奈良市東部地区自治連合協議会から委員会宛に生活道路の改良整備等取り組むことなどの申入も頂き、重く受け止めています。新しい施設の建設は、地元住民の皆様方のご理解とご協力を得ることが重要であり、本委員会でご議論を頂き、最終候補地の選定をして頂けるものと考えております。）</p>
事務局（森嶋）	● ここで市長は公務のため退席をさせていただきます。 出席状況ですが、委員総数21名の内13名の委員の出席を頂いており、本日の委員会は成立していることをご報告申し上げます。 委員長を選出に移らせて頂きたいと存じます。
事務局（吉住）	● 策定委員会の設置要綱第5条の規定により、委員の互選により委員長を定めるとあり、委員長の選出をお願いしたいと思います。
森住委員	● 今まで委員長代理として事実上の委員長をして頂きました、渡邊さんが委員長にふさわしいと思います。
事務局（吉住）	● 只今、委員長を渡邊委員をお願いしたいというご意見でございましたが、皆様、いかがでしょうか？ （一同意義なし）
事務局（吉住）	● それでは、委員の皆様の手拍で……。有り難うございました。只今、渡邊委員が委員長に選出されました。
事務局（森嶋）	● 渡邊委員に於かれましては、委員長席にお移り頂けますでしょうか。 渡邊委員長より就任のご挨拶を頂戴できますでしょうか。
渡邊委員長	● 委員長にご指名頂き有り難うございます。委員長に推薦されても座る場所

事務局（森嶋）	<p>も変わらないから、緊張しないだろうと思っておったのですが、字が違うだけでプレッシャーをますます感じてます。地点が東部の地域と範囲が狭くなって、地元の方と話し合いをする形になる訳ですけども、ごみ焼却施設は終始嫌われ者としてやってきてまして、私は技術系のことを教えているせいもあり、嫌われる物であることも、悲しいことであり、少しでも市民権を得たいという気持ちも、皆様にも知って頂きたいと思ってます。</p> <p>このような会議は、お互いの相手の立場と心情を思いやりながら進めることが大変大事だと思います。ご協力お願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 議事の進行につきましては、渡邊委員長をお願いします。
渡邊委員長	<p>1. 議事</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 最初に、副委員長を決めないといけないですが、副委員長をどなたに、皆様ご意見がありましたら承ります。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 大事な局面になってきてますので、複数、副委員長に就任頂いたほうがいいのではと思ってます。できれば法律家から田中啓義さんは、どうだろうと思ってます。この委員会は女性は少ないですが、できれば女性の委員からも副委員長を選出頂いたらと思ってます。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 田中啓義さんが推薦されました。もう一人女性をとということですが、今日は安田さんはおられないですが、今までの経験も考えますと安田さんをお願いしたいと思ってるんです。いないところで勝手に決める訳にはいかんのですが・・・
木内委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 安田さん、お願いしたらして頂けると思いますよ。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 安田さんが何かおっしゃったら、木内さん対応お願いします。では、田中啓義さん、お願いしてもよろしいでしょうか。
田中(啓)委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 受けさせて頂きます。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● よろしくお願いします。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 本人の了解を得る条件付きで、安田さんをお願いするという事で、今日の段階で別に最終確定しなくてもいいので。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 次回にお願いということでもかまわないと思います。では、副委員長としての挨拶をお願いします。
田中(啓)委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 副委員長をさせていただきます田中です。法律家一人という話があったのですが、お二人の大先輩がいらして、若輩の私が言われるだろうと覚悟はしておりました。自分自身はあまり変化球が投げられるタイプじゃなく、直球で誠意を持ってするしか能がありませんので、たまに厳しいことも言うかもしれませんが、渡邊委員長を支えて、他の委員の方の意向も十分に汲んで、自分の素直な意見も申し上げて、今後地元の方とも、誠意をもって対話をしていきたいと思ってます。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 今日の実質的な内容を進めたいと思いますが、東部の方と話をするにあたり、道路問題で我々からどのようなことができるか提案をしなければならな

事務局（森嶋）	<p>いということで、資料にそういったものが入ってます。</p> <p>「資料の確認」</p>
<p>渡邊委員長 事務局（森嶋） 渡邊委員長</p>	<p>（１）議事録確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事前に送られてます議事録ですが、何か修正すべき連絡は入ってますか。 ● 事務局の方には現在のところ特に頂いておりません。 ● 会議が終わるまでに、気の付かれるところがあれば、修正の発言をお願いします。特になければ自動的に承認されたものと思いたいと思います。
事務局（吉住） 森住委員	<p>（２）ごみ焼却施設の候補地選定について</p> <p>「主要幹線道路の整備について検討」（資料65）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 説明は、道路部会の部会長の森住委員から説明して頂きたいと思います。 ● 道路部会を開かせて頂いて、その暫定的な結論が一応出ておりますので、説明を簡単にさせていただきます。東部地区の方から、渋滞緩和のために369号線を4車線化してほしいという要望が19年12月にありましたが、その時は東部地区に決定してない状況で、奈良名張線も候補に挙がってましたので、それらの道も含めておられました。昨年東部地区に予定地が4カ所選ばれたので、ご要望が少し変わりました。369号線に焦点を絞られて、渋滞緩和策を求めると。具体的には4車線化を求めておられます。私達が両方の道を検討してきましたが、今日は369号線に絞って検討結果を報告させていただきます。当然の要望と思いましたので、私達も奈良市あるいは奈良市民として何ができるのかという観点から検討を開始しました。369号線は奈良県が管理する国道であることが分かりました。国道ではお金は当然国から出ますが、奈良県の了解も得る必要もあり、当然国の了解を得る必要があることが分かりました。次に、国ないし奈良県の了解を得るために、どうしたらいいのかを調べたところ、4車線化するための大きなハードルが4つ有り、そのハードルを4つ越えすと4車線化が実現されることが分かり、そのハードルがどんなハードルか調べました。1点目は車の交通量です。交通量が、現在2車線ですから、対象となる道はこの道です。一番問題なのは奈良県庁前ですね。この道が非常に狭くて渋滞が起きますので、この道を含む369号線の4車線化を図る場合、2車線ですと、1日当たりの交通量が12,000台です。12,000台を超えると2車線以上の道にできる要件があることが分かりました。この場合の12,000台は、往復で勘定します。片道、1車線ずつ6,000台でもかまわないし、8,000台と4,000台でもかまいません。往復で、合計1日あたり24時間です。24時間で12,000台を超えすと2車線以上の道を作る要件が出てくることが分かりました。現状どのくらい通ってるか言いますと、20,000台でした。12,000台を超えてますから、第1ハードルは越えられた訳です。これで元気でまして、それでOKかなと思ったら、第2ハードルがありました。第2ハードルは、片道あたりの通過台数です。片道あたりの通過台数が、半

分の2割多い7,200台でした。片道で一日あたり7,200台を超えてないという規定がありましたので、調べてみたら、合計で20,000台通りますから、 $7,200 \times 2$ で14,400です。20,000を14,400で割りますと1.39になりますから、7,200台を一日で超える状況もクリアできまして、車線を増やす必要があることが分かりました。ところが、4車線化してくれるかいうと、残念ながらそうではなかった。車線を増加する必要がありますけども、4車線化にしてしまうと、空きすぎる訳です。4車線化しましたら、 $20,000 \div (7,200 \times 4)$ で、0.69になってしまうんです。通れる容量の7割しか通らないことになると、3車線化だったらクリアするんですよ。4車線化は少し余裕を見すぎということで、4車線化にしてもらえないということが分かってしまったんです。3車線化やったらいけるけれども、3車線の道、ほとんどありませんね。難しいことが分かりました。第2ハードルは残念ながら、3車線化だったら越えられるけれども、4車線化は越えられないことが分かりました。しかし、実際渋滞で困っておられますから、別の条件ないかと探してみたら、1時間あたりの規制値がありました。1時間あたりで1,700台通れたらいいと。1,700台を超えてますと、可能性がでてくるのです。調べてみたら残念ながらこのハードルは越えてませんでした。

4年前の現状で、1時間あたり1,377台というデータと1,700台を比較しますと、残念ながら300台くらい余裕あることになりまして、第3ハードルも越えられないことが分かって、段々、私も元気がなくなりました。もうひとつの一番大きなハードルは、お金がどれだけかかるのかということで、3つのハードルを越えても、あまりお金がかかりすぎるのであれば、ちょっと待てよといわれることが分かりました。費用対効果というそうです。費用をかけたら、4車線になりますけれども、費用がかかりすぎたらだめよという意味ですね。現実には、ここの道はもう2車線上両端が、家がぎっしりありますから、4車線化してもらおうとすると立ち退いてもらわないかんのですね。これはよそで見ましても、非常に長い年月かかります。今現在建ってますから。保証金、莫大なお金になります。地価が高いところですから、費用対効果費が残念ながらあまり大きにならないということが分かってしまいました。結局第1ハードルは越えたけれども、あとの3つのハードルが越えられる現状ではないと、残念ながら分かってしまったので、369号線の4車線化による渋滞緩和策。これは国の承認は得られないことが残念ながら分かってしまいました。但し、これで私達が何もしないということじゃなくて、地元の方々から、これに代わる案を出して頂いたり、こっちから提示して渋滞を緩和することを一生懸命両方でやることができますから、今日はその辺で検討したらいいんじゃないかと思ってます。

渡邊委員長

● 今の道路部会の検討の中では、仮にごみ焼却施設を移転した場合に、パッカー車が増えると思うんですが、それは今入ってないんですよ。

森住委員

● これには入ってません。

渡邊委員長	● 今日は、今までの調べた内容を、地元の方にお見せして、これで話に行く相談する場ですので、理解を深めるためのご質問を頂ければと思います。
田中(啓)委員	● パッカー車増えてクリアできるかどうかという数字は出ますかね。2車線以上3車線、4車線というのは。パッカー車が増えたときに、その数字をクリアできるのかどうかという点を聞きたい。
事務局 (吉住)	● 今は、奈良県の道路交通センサスの交通データから整理させて頂いて、説明頂きましたが、20年度で環境清美センターに入ってくる車の台数を調査させて頂きました。1時間あたりの調査をして、その台数を奈良県がされた交通センサスの台数にプラスアルファをして、検討をさせて頂いています。車線数の判断の中では、国道369号線の登大路では19,814台のところ、2,160台が追加され、21,974台となり、これを設計基準交通量で割りますと約1.83近くの数値になり、少し数値は上がりますけれども、2を超えることにはなりません。川上町についても台数を2,700台の往復の台数で載せて計算しますと、倍率が約1.3倍位に上昇します。これらのデータを用いて、設計基準要領からの判断と、増加した台数を入れて計算し直したところ、将来の通過台数の増加も含めて計算しますと21,974台を28,000台で割りますと倍率としては0.78倍位になり、まだ1未満という数字です。②の時間単位の交通容量での減少というところですが、ピーク時の交通容量は、1,377台が1,545台に増加しますが、1,700台を超えない結果になりました。朝の7時から8時の時間帯が通過交通のピーク時になってますので、そこへプラスアルファさせて頂いて1,545台になるということです。
渡邊委員長	● 1,545台。これパッカー車の話でしたけれども、市民一般持込の台数は、パッカー車に比べて、奈良市の場合は、市民一般持込、結構あると思いますが。それはパッカー車と比べるとどうだったですか。
事務局 (吉住)	● 環境清美センターへの進入車両の目的別台数調査を20年度に4日間連続でさせて頂き、ごみ搬入車両と職員の車も含めて、平均で1,268台の車が一日に環境清美センターに入ってます。その内ごみ搬入関係の車は約67%で、特に多いのが、一般家庭からの持込約422台ですが、33%を占めてます。1,268台の内、奈良市の直営の収集車とか清美公社の収集車、官公庁、事業所、許可業者が約3分の1、一般家庭からのごみの持込が約3分の1。ごみ搬入関係の車両、職員の車、確認申請とか事業のために公用車の出入りが、約3分の1というパターンの調査結果になってます。
渡邊委員長	● 先程1時間あたりの値で、現在1,377台でパッカー車を入れると1,545になると。160位増えるのかな。
事務局 (吉住)	● 総数として1,268台の内訳は先程説明させて頂きましたが、現在の環境清美センターへの時間帯の進入車両、出口車両の調査をさせて頂きました。今回の一番混む時間帯は7時から8時というデータで、そこへ環境清美センターに7時から8時までに入ってくる車が148台。職員の車とか事業系の許可業者の車がほとんどと思います。出ていく車は約61台。現在パッカー車が出

田中(啓)委員	<p>ていくのが、7時40分前後で、この61台はほとんどが奈良市の直営の収集車両で、この2つの数字を時間当たりの交通量にプラスした結果、1,545台になったということです。</p>
事務局（吉住） 渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● パッカー車以外の市民持込と業者持込を含めてということですね。 全部含めて1,545だから1,700に満たないということですね。私も道路通っていると、7時台がものすごく369号線は混雑するんです。市民の持込とか働く人の車の出入りを、時間差通勤とか市民持込の時間はストップさせるとか、パッカー車の7時台に出る時間をずらすとすれば、その時間の枠に入る量が、今と同程度になることも、ソフトの形では可能と理解していいですか。
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● ハードとソフトの対策、総合的に考えていく必要があると思います。 ● 2車線では確かにきついと。だけど4車線にすぐいく数字ではないと。ハード的な整備で何とかなる見通しは余りないので、ソフト的な規制とかになるとと思いますが、それで地元にもっていく話と理解してもよろしいですか。
事務局（吉住）	<ul style="list-style-type: none"> ● 4車線化に答えられるかどうかの検討を終えただけです。これに代わる代替案については地元からのお声もお聞きしてませんし、こっちも検討していませんので、今日はそのことをどうするかの話をしたらいいと思います。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 森住委員から説明頂きましたが、この時点では平成17年度の交通センサスを基本に検討頂き、道路部会でももう少し検討が必要とのご意見を頂いてます。そこで道路拡幅整備とか交通停滞の緩和対策の条件整理が必要で、詳細の調査が必要になってきました。施設課では21年度に道路対策検討業務委託をし、調査・検討資料の作成を行ってます。1点目として現況の道路交通量調査として、要望頂いてる幹線道路主要交差点に於ける1時間当たりの交通量を調査しています。併せて現在の環境清美センターにおける進入車両の目的別の台数の調査をしています。5日間程連続で、時間別の交通量調査をしました。2点目は、今後奈良県とか関係機関に道路整備について要望していくためには、道路整備の必要性の条件整理が必要で、費用対効果がどの程度かも、大事な検討のひとつで、現在進めており、道路の整備に向けての課題や評価を現在取りまとめている状態です。調査結果は、道路部会や策定委員会に提案させて頂き、ハード面ソフト面から停滞緩和の対策について検討頂けたらと考えてます。
事務局（吉住）	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成21年度の調査でどういった対策か、今すぐは無理なんですね。それも加えて、森住委員から説明のあった内容を、地元にもっていってお伺いを立てるといって今できるのは、次回の委員会までに地元にもっていくことは可能なんじゃないでしょうか。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 今日ご説明頂いた20年度の調査資料について策定委員会として、説明に行くのであれば、対応は可能ですが、21年度の調査資料の解析をしての対応は次回までには難しいということです。 ● 道路に関する要望も頂いてますし、今までの検討結果を持って行って、テ

吉岡委員	<p>ーブルについてもらえるかどうか、あたってみたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 森住委員から発表のあった道路部会で検討し温めてきたこれを第一段階と考えますと、これだけで話に乗ってくれというのは、酷な話かと思います。平成21年度の新しいデータに基づいて、さらに深みのあるものができれば、第2段階として報告して頂いて、もっていけるかどうか判断をすべきだと。この道路部会だけの報告では、テーブルには乗ってもらえないという思いがあります。
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● ここはごみを審議するところですね。道路については、ごみの関係の方は、何の権限も持っておられないので限界があります。道路問題は非常に大事ですから、ごみの関係のところも含めた横断的なプロジェクトチーム的なものを作ってくださいと、委員会として、事務局にお願いすることが一番大事だと思います。地元の方のご要望に応えると、お金もかかる話ですから、きちんと腹くくったことを示す奈良市の姿勢が大事だと思います。
吉岡委員 事務局（仲）	<ul style="list-style-type: none"> ● 委員会として行政に動けということは、依頼すべきかと。 ● これから道路をどうするのかという話になれば、ごみ部局だけではいけない部分があります。建設部と都市開発部のお力添えも頂く必要もございいます。上層部と相談致しまして検討させて頂きたいと思います。
田中(啓)委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 地元にもっていくときに、何か前向きなものが出ないといけないと思うんです。この2カ月や3カ月で、いいことができるんだというおみやげをもっていくことは不可能だと思うんです。何を持っていけるかという、手続きとしてこんな組織ができた。それしかないと思うので、次回の委員会までに是非を検討して、できるというものを頂きたいと思います。
事務局（仲）	<ul style="list-style-type: none"> ● 我々も、先生方がご懸念されてることは十分理解しております。頂いたご意見を早急に持ち帰りまして検討させて頂きたいと思います。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 吉岡委員が言うように、この資料だけだったら、何の相手もされない可能性もありますし、今回の要望書は、委員長宛でもらってるんですけども、我々委員会からも、事務局を通して、市役所もしくは県、あるいは土木部局なども含めて、前向きに改善をできる形にしてほしいということ。委員会から申し上げたいと思いますので、そういう動きは始めて頂きたいと思います。
片山委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在の工場に入った車の台数を、日量1,268と説明頂いたんですが、奈良市は、ごみを持ち込む台数が非常に多いんです。他の地域の方は、何で奈良は、各家庭から直接車で積んでごみ処理場へ持ち込むのかなど。工場移転が、具体的に進められるならば、持ち込むごみはできるだけ減らすという考え方、またルールを変えることも大事で、現況の交通量にオンする形では問題があると思います。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 今のご指摘は、持込ごみでこんなに来ること自体がという話でしたが、道路で数字が云々以前のお話として、改善しないといけないということですね。

<p>渡邊委員長 事務局（吉住）</p>	<p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 名称について提案があるという話ですが、お願いします。 ● ごみ焼却施設移転建設計画策定委員会と委員会名称つけてますけれども、この名称の変更について提案したいと思います。この委員会は、平成18年2月から奈良市ごみ焼却施設移転建設計画策定委員会を設置頂き、約4年間検討頂いてますが、市民の皆様の感覚として、ごみ焼却施設という言葉からは、迷惑施設を連想される方も多く、いいイメージを持って頂けないと考えられます。候補地が4カ所に絞られ、最終候補地の選定や新しい施設の整備計画の検討については、市民の皆様や、特に候補地周辺の皆様のご理解とご協力が是非とも必要であると考え、このため、委員会の名称を、親しみあるクリーンなイメージを持った名称に変更する提案したいと思います。現在、ごみ焼却施設は全国で1,300カ所程あり、その内クリーンセンターという名称を使ってる施設が415カ所ございます。また中核市41団体の中では19団体がクリーンセンターを施設名称に使用されてます。このことからクリーンセンターは、ごみ焼却施設の名称として全国的に一般化されてると考えます。新しい焼却施設は、環境にやさしく安全・安心な施設であることはもちろん、循環型社会形成の推進の拠点として、市民がごみの減量を学んだり、リサイクルの体験を行う学習拠点機能を併せ持つリサイクルセンター併設を検討しています。移転候補地の選定では、4カ所に絞って頂きましたが、生活環境や自然環境などの環境への影響度で、高い重み付けで、候補地を選定頂いたところであり、人間生活と自然との調和・共存を目指すという意味がある、エコロジーのエコを、名称に入れてはと考えてます。全国でエコを施設名称に入れている施設は11施設があり、内3施設がエコクリーンセンターという名称を付けられてます。新しい施設名称として、エコクリーンセンターも有力な候補と考えてます。他にエコクリーンパークとかクリーンセンターとかエコセンターとかエコパークが候補と考えてます。このことから策定委員会の名称は、奈良エコクリーンセンター建設計画策定委員会に変更してはどうかと考えますので、ご検討をよろしくお願いします。
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在が奈良市ごみ焼却施設移転建設計画策定委員会ですね。ごみ焼却施設という名前が付くのは、いささか古いということで、名前を変えてはどうかという提案を議論したいと思います。
<p>森住委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 名前変えるのはいいんですが、エコとかクリーンだけでは、具体的なイメージが思い浮かばないので、リサイクルとかリユースとか、エネルギー回収とか分かる名前にしたほうがいいと思います。マテリアルリサイクル、ケミカルリサイクル、それでだめなやつは熱回収となってますから、段々焼却する量は明らかに減ってますし、現在では難しいんですけど、生ごみを、燃やすのは非常に不合理ですね。どんどん分別して、資源ができるものをできるだけ低コストの技術を開発しながら皆で、リサイクルすると。大型ごみも、リサイクルの方向に進んでますね。ベッド類とか、タンス類とかも、いずれ

<p>渡邊委員長</p>	<p>法が整備されて、そういう方向で、リサイクルが多くなりますよね。大半が手作業で、地元雇用が生まれる訳です。地元雇用対策にもなると。重要施設になるイメージを与えられる名前を皆で検討したらいいと思います。</p>
<p>佐藤委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 将来のことも考えて名前を決めて慎重にということですね。エネルギー、マテリアルそれから雇用ですか。いわゆる人が行う3R活動ですかね。
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ごみ焼却施設移転建設計画策定委員会というのが、これまでは候補地が多かったのだから分かるんです。4カ所まで絞られて、いよいよ地元の人とも本格的に協議をさせてもらうという段階で、奈良市の現在の左京の清掃工場のイメージが悪いですからね。そういう点では、最終的には、市民公募をして、施設名称などはやるべきだと思います。クリーンセンターはどこも多いようですが、それにエコロジーを入れて、エコクリーンセンターということですので、委員会の名称はそういうことに変えてやってみて、中身は、まだ議論十分できてませんが、最終的には市民公募で新しいものを決めるということで、早くごみ焼却施設という名称は変えたほうがいいと思います。
<p>吉岡委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 最終的には公募。今おしゃれな名前を付けてしまっても何ですので。個人的には、何の変哲もない名前でもいいと思ってるんですが、時代ですので、エコクリーンセンターでもいいかもしれませんが。
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 私は、エコは流行の言葉ですが、クリーンセンターでいいと思います。委員長も渡邊委員長に代わったので、この機会に古い名前を変えると。クリーンセンターでいかがでしょうか。
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 公募も考えますと、名前負けするような名前を付けてもなんですから、単なる奈良市クリーンセンター。この委員会は、最初に奈良市付いてましたよね。委員会の名称は大きく変えないほうがいいので、例えば奈良市クリーンセンター移転建設計画策定委員会とか、そんな名前が。
<p>元島委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 計画だけに終わったらいけませんから、建設計画策定というキーワードも外してしまう形で、前向きにクリーンセンター奈良、クリーンセンターの建設ということを主において考えたらいかがでしょうか。
<p>佐藤委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 主体が奈良市の事業ですので、建設委員会って、我々が建設までするイメージなので、委員会の名称は元の方がいいんじゃないのかなと。奈良市クリーンセンターという名前が出ましたけど、奈良市クリーンセンター移転建設計画策定委員会ですが、今の左京から移転するということは、決まってるし、重要なことですが、今のごみ焼却施設が移るんじゃないくて、新しいクリーンセンターを造るということであれば、必ずしも名称に移転を入れなくてもいいんじゃないのかな。奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会がどうなのかなと思います。
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 只今、奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会という意見がありました。皆さん、これで。 (全員異議なし)
<p>事務局（吉住）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 名称変更決めて頂き、設置要綱とか傍聴要領とか名称変更をしますと、そ

<p>渡邊委員長</p> <p>事務局（吉住）</p>	<p>の修正等ございますので、事務局で対応させて頂いて、手続きにお時間を頂きたいと思うんです。4月の策定委員会は、すでに原稿を送ってまして、修正は難しいので、4月の策定委員会以降の策定委員会は、市民日より、ホームページ等は、名称をこう変えますということで、掲示して、4月以降の第33回の策定委員会から名称を変えた形で進めていきたいと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月14日、最後のごみ焼却移転ですね、次からクリーンセンター建設計画というスケジュールになると思います。
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● この策定委員会で、木津川市が、ごみ焼却施設の候補地選定をされているということで、新たな進展があり、報告させて頂きます。木津川市も、木津川市と精華町の広域ごみ処理で、新清掃工場の建設について話し合います、木津川市清掃センター建設審議会を昨年21年度から作られ、検討されてきたところです。2月8日の審議会において、建設地、5カ所に絞られたところから、木津川市の鹿背山川向を選定され、市長に答申をされました。翌日に幹部、市長を含めた政策会議を開きまして、市としての決定をされました。2月11日の新聞報道によりますと、木津川市は2月10日に建設候補地を木津川市清掃センター建設審議会の答申通り、同市鹿背山川向に決定されたと発表されました。水色で○のところは5カ所ございますが、赤色の星印のところに候補地を選定され、今後地元へ入られ、協議されるということです。
<p>森住委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● この件は、私が気にしてまして、奈良市の現在の状況から、ごみ処理焼却の規模は400トンから500トン位が関の山でして、木津川市ですと、100トンかそれ位規模で、どちらも人口密集地帯が結構近くにありますので、環境省の高効率発電のこと考えますと、一緒にごみ処理をしたほうが効率がいいと、前々から感じてまして、しかも、木津川市の方でも、建設の話があるということで、端から見ますと、一緒にやればいいのにと思っているのです。事が動いたら報告してくださいと事務局にお願いしてる経緯があります。下のほうに二つ青いのがあって、この二つが候補に挙がってくると、奈良市の東部と一緒に考えたらどうかと気にはしており、年度末には決まるということだったので、ご報告を頂いたということです。
<p>事務局（吉住）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 私達が検討している候補地との関連性をもう少しご説明願いたいんですが、特に境界にあります、青色の○3つと現在4つの候補地との関係を、説明して頂きたいのが一点。新聞で見る限り、地元との関係性が問題になると書いていますので、地元とどういう話し合いをして、そこへ至ったのか、教えて頂けたらと思います。 ● これが木津川市のエリアです。打越台清掃センターは精華町にあり、精華町と木津川市さんが合同で利用されてまして、処理しきれないごみは、一部民間に委託されてます。ここの清掃センターも古いので、建替えをしなければならないので、新しい清掃工場を建設しましょうと、広域ごみ処理を候補地も含めて検討されてきたと。審議会でも5カ所から1カ所に絞る検討を1年間かけてされてきて、この赤の星印に決定されました。

<p>渡邊委員長</p>	<p>奈良市の4カ所の候補地との関係ですが、このラインが奈良市と木津川市の市境界です。隣接しているところが、奈良市で⑥-2地区です。奈良市の4カ所は、この付近に集中しています。地元対応ですけれども、木津川市も、審議会を新たに立ち上げられ、特に地元の4ブロック程から、委員数名ずつ入って頂いた審議会で検討されました。選定条件を設定され、点数付けで総合評価され、1カ所に決定され、今後地元と協議しながら協力のお願いくという内容です。地元合意は、これからとっていくスタンスと思います。進展等があれば、策定委員会で報告させていただきます。</p> <p>● 今日の予定はここまでと思います。道路について、東部の自治連合会に持って行く際には、我々も奈良市役所に対して清掃部局だけじゃなく、土木関係も含めた対応を準備しながら進めていくということで、1月に要望書頂いてから、ご挨拶に行くことを、是非とも進めたいと思います。次回は4月14日です。4月14日の次はいつ位になりますか。</p>
<p>事務局（吉住）</p>	<p>● 道路問題について色々検討して、道路部会の開催させて頂いて、策定委員会に上げていきたいので、6月に入ってからにして頂けたらと。</p>
<p>渡邊委員長</p>	<p>● 色々調整しなくちゃいけないですね。6月で先の話になりますけれども、授業がたくさんある頃で、18日の金曜日でよろしいですか。4月14日の次は6月18日に行くということでよろしいでしょうか。</p>
<p>事務局（森嶋）</p>	<p>● 皆様方には長時間に渡りまして、ご審議を賜り、有り難うございました。尚次回は4月14日水曜日の開催でございます。本日はこれを持ちまして閉会とさせていただきます。</p>